

第 9 章 地下水

地下水の水質汚濁に係る環境基準

平成24年5月23日

	項 目	基 準		項 目	基 準
1	カドミウム	0.003mg/ℓ以下	15	1,1,1-トリクロロエタン	1mg/ℓ以下
2	全シアン	検出されないこと	16	1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/ℓ以下
3	鉛	0.01mg/ℓ以下	17	トリクロロエチレン	0.03mg/ℓ以下
4	六価クロム	0.05mg/ℓ以下	18	テトラクロロエチレン	0.01mg/ℓ以下
5	砒素	0.01mg/ℓ以下	19	1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/ℓ以下
6	総水銀	0.0005mg/ℓ以下	20	チウラム	0.006mg/ℓ以下
7	アルキル水銀	検出されないこと	21	シマジン	0.003mg/ℓ以下
8	P C B	検出されないこと	22	チオベンカルブ	0.02mg/ℓ以下
9	ジクロロメタン	0.02mg/ℓ以下	23	ベンゼン	0.01mg/ℓ以下
10	四塩化炭素	0.002mg/ℓ以下	24	セレン	0.01mg/ℓ以下
11	塩化ビニルモノマー	0.002mg/ℓ以下	25	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/ℓ以下
12	1,2-ジクロロエタン	0.004mg/ℓ以下	26	ふっ素	0.8mg/ℓ以下
13	1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/ℓ以下	27	ほう素	1mg/ℓ以下
14	1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/ℓ以下	28	1,4-ジオキサン	0.05mg/ℓ以下

- ※・基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については、最高値とする。
- ・「検出されないこと」とは、測定方法の欄に掲げる方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。
 - ・硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の濃度は、規格K0102の43.2.1、43.2.3又は43.2.5により測定された硝酸イオンの濃度に換算係数0.2259を乗じたものと規格K0102の43.1により測定された亜硝酸イオンの濃度に換算係数0.3045を乗じたものの和とする。
 - ・1,2-ジクロロエチレンの濃度は、規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2により測定されたシス体の濃度と規格K0125の5.1、5.2又は5.3.1により測定されたトランス体の濃度の和とする。

水道法水質基準（飲用基準）

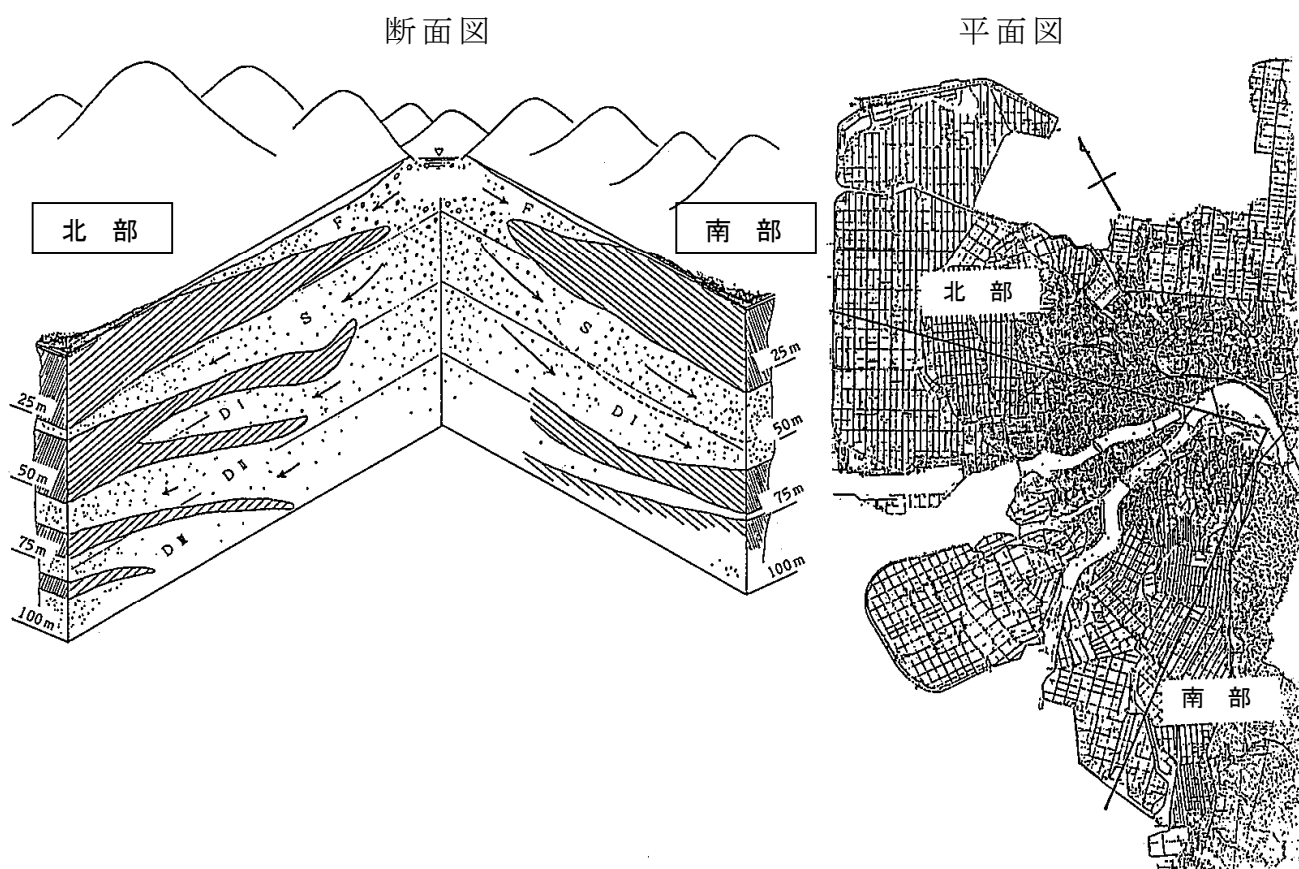
平成23年4月1日

	項 目	基 準		項 目	基 準
1	一般細菌	100/㎖以下	26	総トリハロメタン	0.1mg/ℓ以下
2	大腸菌	検出されないこと	27	トリクロロ酢酸	0.2mg/ℓ以下
3	カドミウム及びその化合物	0.003mg/ℓ以下	28	ブロモジクロロメタン	0.03mg/ℓ以下
4	水銀及びその化合物	0.0005mg/ℓ以下	29	ブロモホルム	0.09mg/ℓ以下
5	セレン及びその化合物	0.01mg/ℓ以下	30	ホルムアルデヒド	0.08mg/ℓ以下
6	鉛及びその化合物	0.01mg/ℓ以下	31	亜鉛及びその化合物	1.0mg/ℓ以下
7	ヒ素及びその化合物	0.01mg/ℓ以下	32	アルミニウム及びその化合物	0.2mg/ℓ以下
8	六価クロム化合物	0.05mg/ℓ以下	33	鉄及びその化合物	0.3mg/ℓ以下
9	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/ℓ以下	34	銅及びその化合物	1.0mg/ℓ以下
10	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/ℓ以下	35	ナトリウム及びその化合物	200mg/ℓ以下
11	フッ素及びその化合物	0.8mg/ℓ以下	36	マンガン及びその化合物	0.05mg/ℓ以下
12	ホウ素及びその化合物	1.0mg/ℓ以下	37	塩化物イオン	200mg/ℓ以下
13	四塩化炭素	0.002mg/ℓ以下	38	カルシウム、マグネシウム等（硬度）	300mg/ℓ以下
14	1,4-ジオキサン	0.05mg/ℓ以下	39	蒸発残留物	500mg/ℓ以下
15	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/ℓ以下	40	陰イオン界面活性剤	0.2mg/ℓ以下
16	ジクロロメタン	0.02mg/ℓ以下	41	ジェオスミン	0.00001mg/ℓ以下
17	テトラクロロエチレン	0.01mg/ℓ以下	42	2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/ℓ以下
18	トリクロロエチレン	0.01mg/ℓ以下	43	非イオン界面活性剤	0.02mg/ℓ以下
19	ベンゼン	0.01mg/ℓ以下	44	フェノール類	0.005mg/ℓ以下
20	塩素酸	0.6mg/ℓ以下	45	有機物（全有機炭素の量）	3mg/ℓ以下
21	クロロ酢酸	0.02mg/ℓ以下	46	pH値	5.8以上8.6以下
22	クロロホルム	0.06mg/ℓ以下	47	味	異常でないこと
23	ジクロロ酢酸	0.04mg/ℓ以下	48	臭気	異常でないこと
24	ジブロモクロロメタン	0.1mg/ℓ以下	49	色度	5度以下
25	臭素酸	0.01mg/ℓ以下	50	濁度	2度以下

- ※・ジェオスミンとは、(4S・4aS・8aR)-オクタヒドロ-4・8a-ジメチルナフタレン-4a(2H)-オールのこと。
- ・2-メチルイソボルネオールとは、1・2・7・7-テトラメチルビシクロ[2・2・1]ヘプタン-2-オールのこと。

八代市の地下構造

この図は、八代市の地下構造を簡単に示したものです。



<地層区分の概要>

	地層区分	地質年代	帯水層
F	扇状地礫層	完新世	不圧帯水層
Ac	有明粘土層	〃	
S	島原海湾層	更新世	被圧帯水層
Aso-4	軽石擬炭岩	〃	
D I	未区分洪積層 I 層	〃	被圧帯水層
D II	〃 II 層	〃	〃
D III	〃 III 層	〃	〃

八代市の地下水は、球磨川などの水が地下浸透したもので、帯水層はF層、S層、D I、D II、D III層と呼ばれる層から成っている。

そのうち被圧帯水層は、北部地方（前川から北の地域）では、帯水層が狭くS層、D I、D II、D III層から成っているのに対し、南部地方ではS層とD I層が連続しており、厚みのある帯水層を形成している。

1. 地下水位調査

地下水位は、地下水を保全していく上で最も基礎的かつ主要な情報である。そこで帯水層及び地理的条件を考慮し、市内 6 箇所にて地下水観測井を設置し、被圧地下水については昭和 52 年以降、不圧地下水については昭和 62 年以降常時観測を行っている。

なお、昭和小学校にも観測井を設置していたが、校舎の改築により平成 23 年 3 月をもって撤去した。

(1) 調査内容

① 調査地点

図-1 に示す 6 箇所（被圧地下水 5 箇所、不圧地下水 1 箇所）

② 調査方法

これまでフロート式地下水位計により、3 時間ごとの数値を T.P（東京湾中等水位）に換算し整理してきたが、現在は、南平和町観測井（平成 16 年 4 月以降）、日奈久新開町観測井（平成 20 年 6 月以降）、第七中学校観測井（平成 22 年 7 月以降）、古閑上公民館観測井（平成 23 年 3 月以降）、麦島小学校観測井（平成 23 年 8 月以降）、八代南高校観測井（平成 24 年 9 月以降）の 6 箇所すべての観測井について、圧力式地下水位計により、1 時間ごとの数値を整理している。

(2) 結果概要

① 被圧地下水

本市では主に八代市の地下構造に示す S、D I、D II 層が利用されている。図-2 の降水量と年平均水位の経年変化によると、概して降水量に比例して年平均水位が変動しており、平成 6 年の少雨の影響により地下水位が低下しているが、その後は全体的にゆるやかな上昇傾向にある。

い草作付面積の減少等に伴い、全体で地下水の揚水量が減少したことなどがその要因として考えられる。

また、旬降水量と旬平均水位を示した図-3 によると、6 月から 9 月にかけて地下水位が大幅に変動しているが、これは農業や夏期の水需要の増加と集中的な降雨が主な要因であると考えられる。

② 不圧地下水

不圧地下水とは、八代市の地下構造に示す F 層で、一般に浅井戸と呼ばれているが、球磨川などからの涵養量が多い地域を除けば細菌、鉄分、塩分などによる水質の悪化が認められ、近年、ほとんど使われなくなった。

図-4 に示す八代南高校浅井戸の旬平均水位の変動と旬降水量の関係を見ると降水量が直接的に水位に影響していることが分かる。

図一1 地下水位調査地点



	調査地点名	観測井所在地	観測開始年月	井深(m)	ストレーナー位置(m)	地表面標高(m)
①	昭和小学校	昭和明徴町731-2	S.53.7	70	63～66	0
②	第七中学校	郡築7番町41-2	S.52.4	45.3	42.3～45.3	－0.25
③	古閑上公民館	古閑上町20	S.52.7	43	40～42	3.77
④	麦島小学校	迎町1-16-1-1	S.54.7	60	32～36	3.81
⑤	南平和町	南平和町129	S.52.3	37.7	35.7～37.7	－0.19
⑥	日奈久新開町	日奈久新開町122	S.53.2	41	37.7～41	－0.15
⑦	八代南高校	渡町字松上1576	S.62.8	7	5.5～7.0	7.47

表-1-1 平成24年地下水位観測結果

単位 [T.P : m]

観測井名		第七中学校	古閑上公民館	麦島小学校	南平和町	日奈久新開町	八代南高校	降水量※ (mm)
地表面 標高 (m)		-0.25	3.77	3.81	-0.19	-0.15	7.47	
1月	上旬	-0.21	0.65	0.91	0.23	-0.02	2.28	2.0
	中旬	-0.24	0.61	0.87	0.20	-0.04	2.26	29.5
	下旬	-0.25	0.62	0.87	0.18	-0.05	2.25	4.0
2月	上旬	-0.27	0.65	0.89	0.18	-0.05	2.34	75.5
	中旬	-0.22	0.79	1.00	0.25	-0.01	2.47	49.0
	下旬	-0.19	0.84	1.05	0.29	0.01	2.54	54.5
3月	上旬	-0.15	0.91	1.11	0.34	0.05	2.60	59.0
	中旬	-0.16	0.87	1.07	0.31	0.04	2.54	32.0
	下旬	-0.15	0.95	1.14	0.32	0.05	2.63	98.5
4月	上旬	-0.20	0.84	1.03	0.25	0.01	2.53	5.0
	中旬	-0.19	0.83	1.03	0.28	0.03	2.49	40.5
	下旬	-0.20	0.82	1.03	0.27	0.02	2.53	26.0
5月	上旬	-0.22	0.85	1.05	0.26	0.03	2.60	41.0
	中旬	-0.31	0.70	0.93	0.23	0.00	2.40	7.5
	下旬	-0.48	0.54	0.79	0.12	-0.08	2.28	16.0
6月	上旬	-0.59	0.48	0.74	0.07	-0.16	2.28	16.5
	中旬	-0.47	0.82	1.03	0.24	-0.09	2.74	329.0
	下旬	-0.18	1.40	1.51	0.41	0.09	3.57	430.5
7月	上旬	-0.22	1.16	1.32	0.27	0.03	3.24	148.0
	中旬	-0.23	1.12	1.27	0.33	0.03	3.15	391.5
	下旬	-0.37	0.84	1.04	0.24	-0.09	2.82	28.0
8月	上旬	-0.58	0.65	0.88	0.11	-0.22	2.68	3.0
	中旬	-0.46	0.72	0.94	0.17	-0.16	2.60	26.0
	下旬	-0.51	0.73	0.96	0.16	-0.16	2.68	61.0
9月	上旬	-0.38	0.84	1.04	0.24	-0.10	2.72	29.0
	中旬	-0.31	0.88	1.07	0.28	-0.05	—	73.0
	下旬	-0.22	0.95	1.14	0.35	0.04	—	67.5
10月	上旬	-0.21	0.91	1.11	0.34	0.05	—	0.0
	中旬	-0.24	0.84	1.05	0.30	0.07	2.55	46.5
	下旬	-0.22	0.87	1.05	0.31	0.07	2.53	80.0
11月	上旬	-0.23	0.81	1.00	0.29	0.04	2.45	20.5
	中旬	-0.22	0.86	1.06	0.29	0.03	2.56	44.5
	下旬	-0.20	0.84	1.03	0.31	0.02	2.47	10.5
12月	上旬	-0.24	0.79	0.98	0.26	-0.02	2.40	18.0
	中旬	-0.24	0.79	0.97	0.24	-0.03	2.42	15.0
	下旬	-0.18	0.84	1.01	0.28	-0.01	2.45	49.5
旬平均の最高		-0.15	1.40	1.51	0.41	0.09	3.57	
旬平均の最低		-0.59	0.48	0.74	0.07	-0.22	2.25	
平 均		-0.28	0.82	1.03	0.26	-0.02	2.58	
降 雨 合 計								2,427.5

[備考] — : データ欠測
 ※気象庁データ

表-1-2 平成24年地下水位観測結果（月平均）

単位 [T.P : m]

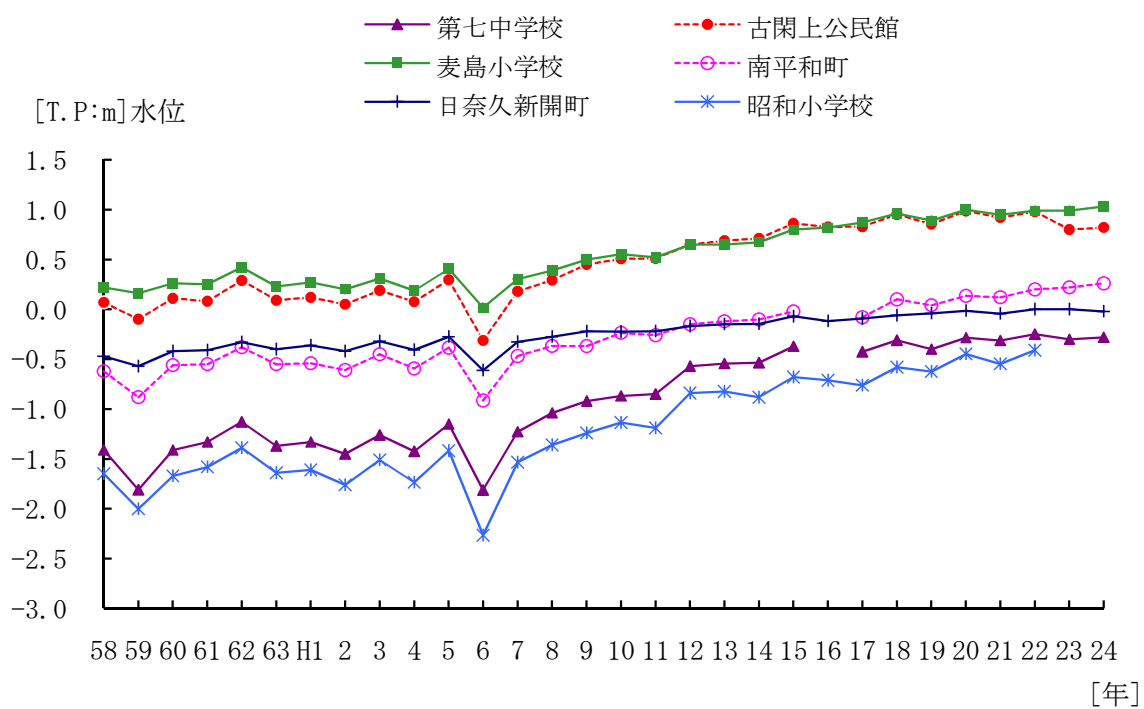
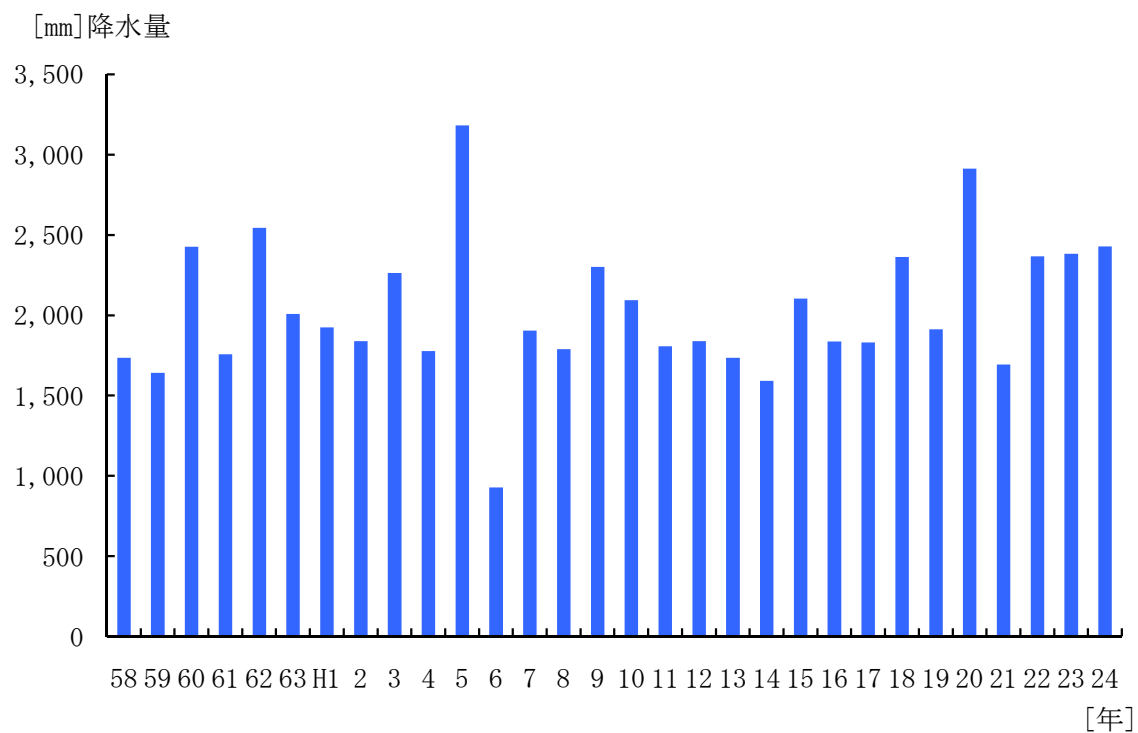
観測井名 月	第七中学校	古閑上公民館	麦島小学校	南平和町	日奈久新開町	八代南高校	降水量 [mm]
1	-0.23	0.63	0.88	0.20	-0.04	2.26	35.5
2	-0.23	0.76	0.98	0.24	-0.01	2.45	179.0
3	-0.15	0.91	1.11	0.33	0.05	2.59	189.5
4	-0.19	0.83	1.03	0.27	0.02	2.52	71.5
5	-0.34	0.70	0.92	0.20	-0.02	2.43	64.5
6	-0.41	0.90	1.10	0.24	-0.05	2.86	776.0
7	-0.27	1.04	1.21	0.28	-0.01	3.07	567.5
8	-0.52	0.70	0.93	0.15	-0.18	2.66	90.0
9	-0.30	0.89	1.08	0.29	-0.04	2.72	169.5
10	-0.22	0.87	1.07	0.32	0.06	2.54	126.5
11	-0.21	0.84	1.03	0.30	0.03	2.50	75.5
12	-0.22	0.81	0.99	0.26	-0.02	2.43	82.5
平均	-0.28	0.82	1.03	0.26	-0.02	2.58	—
合計	—	—	—	—	—	—	2,427.5

表－2 平均水位と降水量の経年変化

単位 [T.P : m]

調査 地点名	昭和 小学校	第 七 中学校	古閑上 公民館	麦 島 小学校	南平和町	日奈久 新開町	八代南 高 校	降水量 [mm]
層	DⅡ	DⅠ	S	S	S	S	F	
58年	-1.65	-1.41	0.07	0.22	-0.62	-0.47	—	1,736
59年	-2.00	-1.81	-0.10	0.16	-0.88	-0.57	—	1,642
60年	-1.67	-1.41	0.11	0.26	-0.56	-0.42	—	2,426
61年	-1.58	-1.33	0.08	0.25	-0.55	-0.41	—	1,757
62年	-1.39	-1.13	0.29	0.42	-0.38	-0.33	2.56	2,544
63年	-1.64	-1.37	0.09	0.23	-0.55	-0.40	2.40	2,007
H1年	-1.61	-1.33	0.12	0.27	-0.54	-0.36	2.44	1,925
2年	-1.76	-1.45	0.05	0.20	-0.61	-0.42	2.39	1,838
3年	-1.51	-1.26	0.19	0.31	-0.45	-0.32	2.45	2,262
4年	-1.73	-1.42	0.08	0.19	-0.59	-0.41	2.30	1,776
5年	-1.42	-1.15	0.30	0.41	-0.39	-0.27	2.54	3,181
6年	-2.27	-1.81	-0.31	0.02	-0.92	-0.61	2.11	928
7年	-1.53	-1.23	0.18	0.30	-0.47	-0.33	2.35	1,905
8年	-1.36	-1.04	0.29	0.39	-0.37	-0.27	2.42	1,788
9年	-1.24	-0.92	0.45	0.50	-0.37	-0.22	2.55	2,301
10年	-1.14	-0.87	0.51	0.55	-0.24	-0.22	2.60	2,094
11年	-1.19	-0.85	0.51	0.52	-0.26	-0.22	2.50	1,807
12年	-0.84	-0.57	0.65	0.65	-0.15	-0.17	2.53	1,839
13年	-0.82	-0.54	0.69	0.65	-0.12	-0.15	2.48	1,736
14年	-0.88	-0.54	0.71	0.67	-0.10	-0.15	2.53	1,591
15年	-0.68	-0.37	0.86	0.80	-0.02	-0.07	2.59	2,104
16年	-0.71	—	0.83	0.82	—	-0.12	2.58	1,837
17年	-0.76	-0.43	0.83	0.87	-0.08	-0.09	2.57	1,831
18年	-0.58	-0.31	0.95	0.96	0.10	-0.06	2.65	2,362
19年	-0.62	-0.40	0.85	0.89	0.04	-0.04	2.48	1,912
20年	-0.45	-0.28	0.99	1.00	0.14	-0.01	2.62	2,913
21年	-0.55	-0.31	0.92	0.95	0.12	-0.04	2.53	1,693
22年	-0.41	-0.25	0.98	0.99	0.20	0.00	2.59	2,366
23年	—	-0.30	0.80	0.99	0.22	0.00	2.57	2,383
24年	—	-0.28	0.82	1.03	0.26	-0.02	2.58	2,428

図ー2 降水量と年平均水位の経年変化



※ 昭和小学校地下水観測井については、平成23年3月に撤去

図－3 平成24年旬降水量と旬平均水位の変動

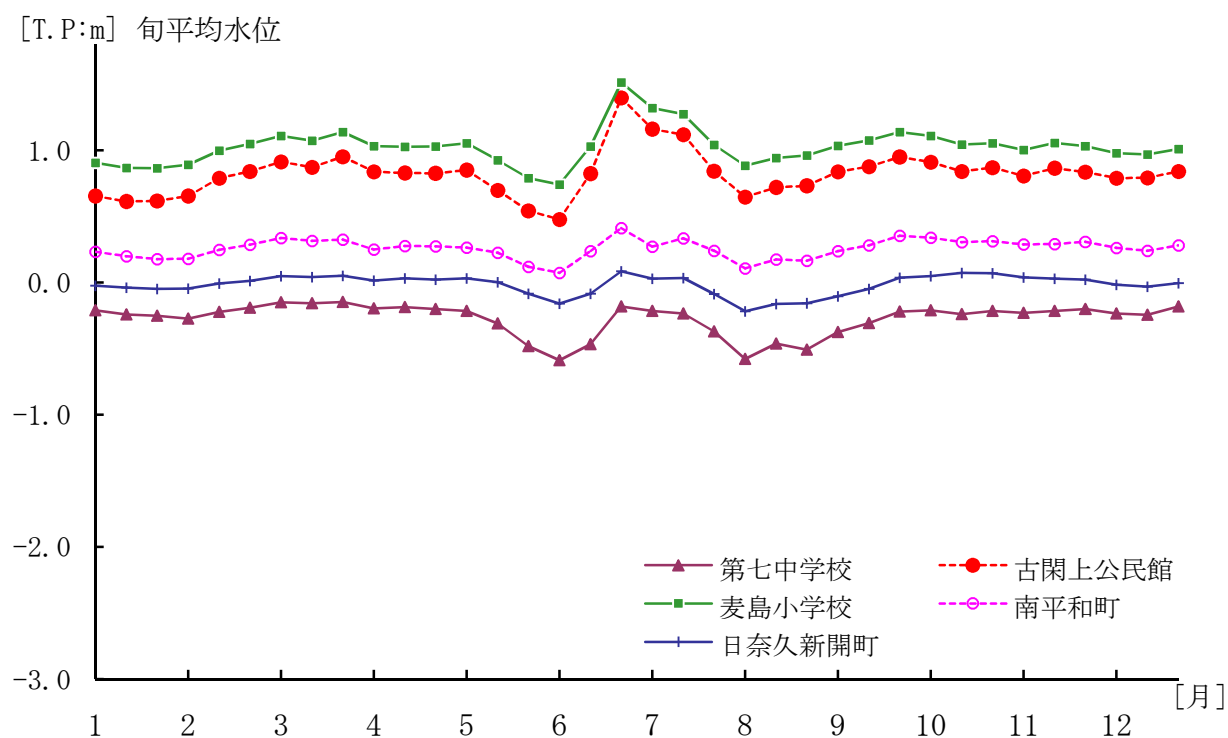
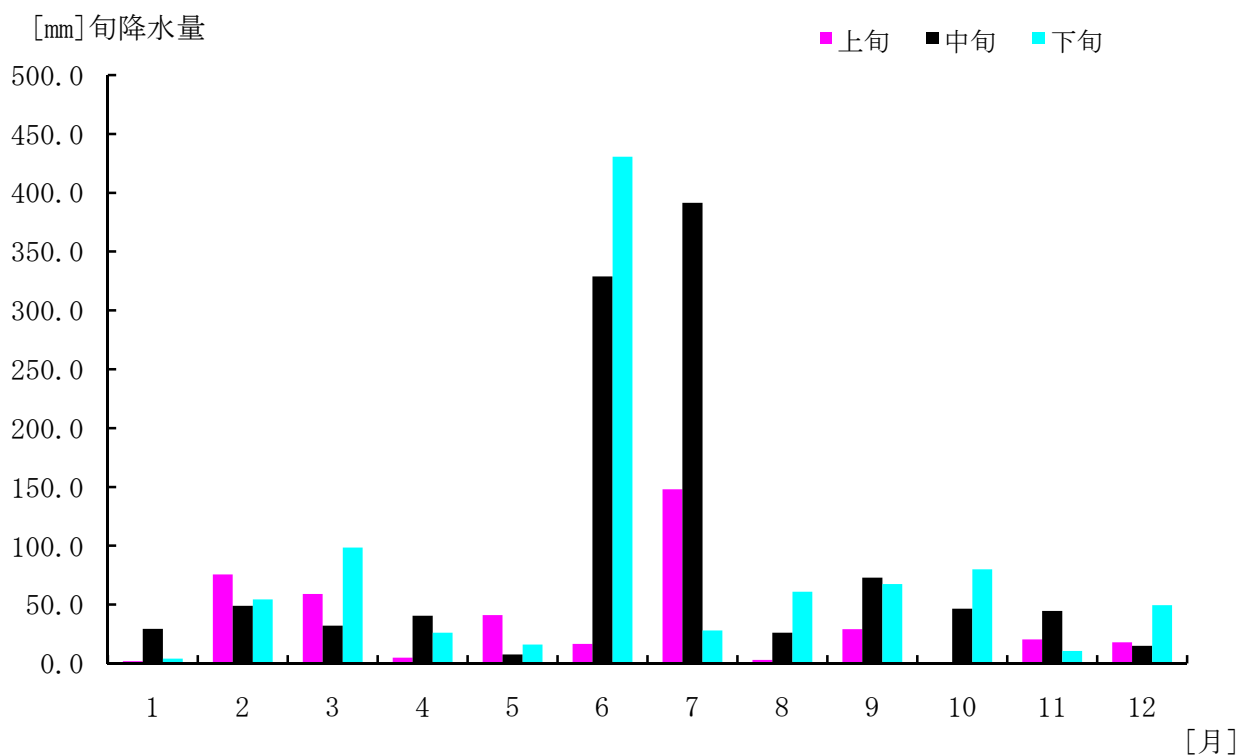
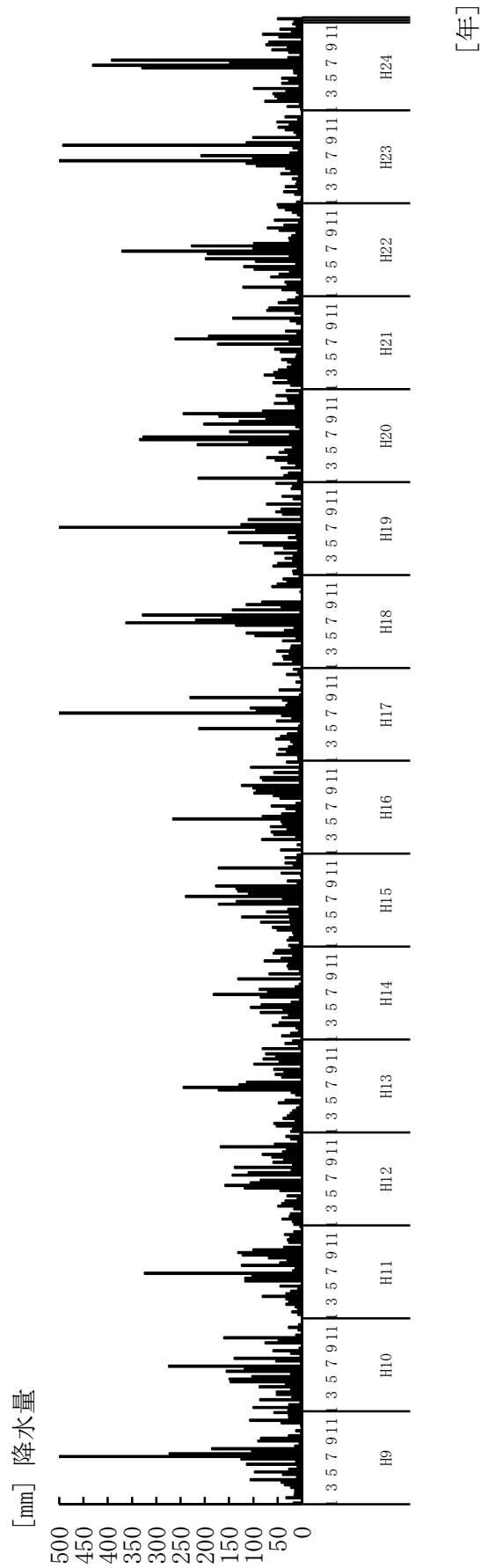


図-4 浅井戸（八代南高校）の旬平均水位と旬降水量



2. 地下水塩水化調査

本調査は、地下水塩水化の動向把握を目的とし、昭和 51 年 7 月から毎月、臨海部の被圧地下水中の塩化物イオン濃度を調査している。

塩化物イオンとは水中に溶存している塩化物のことで、自然水中にも含まれている。地質に由来することが多いが、海岸地帯では海水の影響を受け濃度が高いことがある。また、生活排水、工場排水、畜産排水等の混入によっても増加することが知られている。

(1) 調査内容

① 調査地点

図－1 に示す 28 地点

北部地域 14 地点、南部地域 14 地点

② 測定項目

pH、EC、 Cl^-

③ 測定方法

上水試験法に掲げられた方法（滴定法）

(2) 結果概要

① 南部地域（前川以南の地域）

i) 水島地区（図－2）

No. 1 井戸は昭和 54 年まで塩化物イオン濃度が 300mg/ℓ 付近を推移していたが、昭和 55 年以降は急激に低下し近年は低濃度で推移している。

No. 2 井戸は少雨であった昭和 53 年、平成 6 年時に若干濃度が上昇しているものの、昭和 55 年頃から濃度が徐々に低下し、それ以降概して横ばいの状態である。

また月変化では、両井戸とも低濃度で安定している。

ii) 金剛地区（図－3）

当該地区は上水道が未整備であり、地下水を飲用する頻度が高い地区であるものの、近年まで、高濃度の塩化物イオンが確認されていたことから、より細かく塩水化の状況を把握するために、平成 21 年 4 月より、新規調査地点として 7 地点を追加している。

金剛地区では近年農業用水が整備され、地下水の農業利用が減少したことに伴い、現在では塩化物イオン濃度が低下している。

② 北部地域（前川以北の地域）

i) 郡築地区（図－4）

この地区では No. 11 井戸において塩水化が顕著であり、調査開始当初から塩水化が認められている。

また、No. 12 井戸においては昭和 56 年から徐々に濃度が上昇し始め、平成 3 年には基準を超過するレベルまで達した。その後も、ゆるやかな上昇を続けていた

が、平成 14 年から減少傾向に転じ、平成 17 年には基準を下回るところまで回復している。

その他の井戸については、近年、経年及び月変化は安定している。

なお、No. 8 井戸については、平成 21 年 3 月で調査を終了した。

ii) 昭和地区（図－5）

No. 17 井戸は調査開始時から濃度上昇が認められ、平成 5 年の年平均値をピークに、その後は減少傾向にあるものの、依然として高い値を示している。その他の井戸については安定している。No. 17 井戸のみが突出した塩化物イオン濃度を記録している理由としては、他の 3 地点と地下水の利用帯水層が異なっていることや最も海に近い場所に位置していることが考えられる。

なお、No. 15 井戸については、平成 21 年 3 月で調査を終了した。

iii) 古閑浜・松高地区（図－6）

No. 18 井戸の年平均値は、これまで低濃度で安定していたが、平成 18 年に初めて基準を超過する濃度まで上昇して以降、上昇傾向にある。月変化を見てみると、年間を通して激しく濃度が変動している。今後も塩化物イオンの推移を監視していく必要があるが、井戸の配管等に亀裂が生じ、そのような事象を引き起こしている可能性は現在のところ否定できない。

No. 20 井戸は他の地区の調査井戸に比べ内陸部に位置しているが、これまでの調査でも高濃度域での変動を繰り返している。平成 22 年度に実施した KD 調査で、No. 20 井戸の西南西側（高島町～郡築 3 番町～郡築 1 番町）で帯状に高濃度の井戸が確認されており、ここから海水が浸入していると推察される。

iv) 鏡地区（図－7）

平成 21 年 4 月より、鏡地区の沿岸部においても地下水中の塩化物イオン濃度を把握するために、新規調査地点を 3 地点追加した。

No. 29 井戸においては、海に近い場所に位置していること等から、塩化物イオン濃度は、年間を通して基準前後の濃度で推移している。

This is a detailed black and white map of the Kōchi Prefecture area, showing the coastline, major rivers, and numerous place names. The map is divided into several numbered regions (1 through 27) and includes a scale bar at the bottom left.

表ー1 塩化物イオン調査地点と利用帯水層

区域	調査地点		利用帯水層
	住所	調査井戸No.	
水島地区 (南部)	水島町	1	S
	水島町	2	S
金剛地区 (南部)	南平和町	3	S
	南平和町	22 (H21.4～)	不明
	南平和町	23 (H21.4～)	不明
	南平和町	4	S
	北平和町	24 (H21.4～)	不明
	北平和町	5	S
	北平和町	25 (H21.4～)	不明
	北平和町	26 (H21.4～)	不明
	北原町	6	S
	鼠蔵町	7	不明
	鼠蔵町	21 (H21.4～)	不明
	鼠蔵町	27 (H21.4～)	S
	郡築一番町	9	D I
	郡築一番町	10	不明
	郡築五番町	11	D I
	郡築七番町	12	D I
	郡築十二番町	13	D I
昭和地区 (北部)	昭和日進町	14	D I
	昭和同仁町	16	D I
	昭和同仁町	17	D II
古閑浜・松高地区 (北部)	古閑浜町	18	S
	沖町	19	S
	高島町	20	不明
鏡地区 (北部)	鏡町鏡	28 (H21.4～)	井深：45m
	鏡町北新地	29 (H21.4～)	井深：55m
	鏡町野崎	30 (H21.4～)	井深：60m

表-2 塩化物イオン濃度経年変化

表-2 塩化物イオン濃度経年変化																														単位[mg/ℓ]							
水島地区			金剛地区										郡築地区										昭和地区					古閑浜・松高地区					鏡地区				
井戸No.	1	2	3	22	23	4	24	5	25	26	6	7	21	27	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	28	29	30							
年	S51	274	24	22			123		85		18					9.8		219	16	30	34	84	134	185	70	14	296										
	52	240	38	28			180		75		16					8.8		238	18	26	33	81	133	197	63	8.4	258										
	53	301	43	46			371		77		16					7.9		277	18	25	33	78	132	242	78	9.6	234										
	54	348	55	37			359		105		16					8.2		338	23	28	39	88	148	300	58	11	283										
	55	101	34	29			119		101		18					118	8.1	329	31	28	39	84	145	313	47	9.0	314										
	56	56	17	25			111		93		18					99	8.3	333	43	28	40	87	147	367	53	10	266										
	57	76	13	25			144		85		18	54				88	8.7	332	359	58	30	41	85	156	388	52	11	273									
	58	73	12	25			130		76		17	45				62	9.4	384	75	30	42	85	167	476	61	14	287										
	59	84	11	26			82		70		17	37				73	10	414	415	83	30	44	80	218	530	60	16	305									
	60	46	9.9	25			70		60		17	40				45	11	446	78	30	49	85	245	610	66	21	346										
	61	41	7.9	26			61		65		16	38				38	12	485	79	30	54	86	312	681	67	25	339										
	62	44	7.2	26			58		68		15	37				44	15	500	80	30	58	88	342	639	63	21	339										
	63	78	7.0	22			62		55		14	30				33	21	495	94	27	60	86	369	677	64	18	299										
	H1	29	6.1	20			81		50		13	26				29	25	124	502	103	27	65	84	223	812	51	31	295									
	2	54	6.0	19			133		45		14	34				20	24	126	476	141	26	65	83	140	980	55	25	282									
	3	28	6.6	21			270		46		15	44				17	23	139	506	203	28	69	89	154	1,110	52	23	308									
	4	25	5.7	25			527		44		12	41				13	20	141	483	250	27	66	85	144	1,340	57	26	284									
	5	25	5.7	34			833		40		10	37				15	18	139	486	255	28	62	89	149	1,450	50	16	312									
	6	39	33	35			1,010		43			8.1	39			13	17	119	447	254	23	56	81	131	1,380	63	12	302									
	7	38	8.2	67			1,050		42			8.7	44			14	15	92	422	257	21	50	70	108	1,280	63	6.0	312									
	8	22	4.0	65			935		30			5.3	63			19	15	84	407	246	20	45	69	101	1,240	65	5.4	330									
	9	20	4.2	56			975		51			11	64			24	16	87	442	297	24	48	79	123	1,240	75	9.0	376									
	10	15	4.7	58			1,050		40			6.4	49			26	16	81	436	298	23	46	76	126	1,240	71	11	398									
	11	13	5.8	49			1,050		46			7.3	49			21	20	82	461	323	26	50	82	189	1,150	61	12	414									
12	8.3	6.0	61			872		135			6.6	40			31	22	88	457	362	26	45	85	145	1,080	67	7.8	417										
13	8.0	4.7	19			707		171			5.2	30			25	26	88	479	370	27	46	80	136	1,199	81	10	435										
14	7.4	4.0	27			545		206			4.5	16			25	27	82	472	350	26	45	79	128	1,074	126	9.6	403										
15	5.8	4.4	12			224		317			4.6	21			16	37	72	498	346	28	45	80	134	976	113	8.0	383										
16	3.7	2.6	10			79		233			3.1	14			10	34	57	409	283	25	42	65	99	802	115	3.7	295										
17	4.2	2.4	7.9			47		226			3.6	15			10	59	66	491	185	28	47	71	110	770	89	6.0	265										
18	4.3	4.0	8.0			32		201			3.6	14			8.0	79	72	523	145	33	52	80	130	782	230	6.4	253										
19	3.9	3.5	7.7			24		176			3.7	11			8.7	87	76	529	126	34	54	78	130	729	498	5.8	213										
20	4.0	3.6	6.9			19		158			4.0	10			10.3	101	82	547	114	37	59	80	124	700	500	5.7	207										
21	4.7	4.8	7.0	47	8.0	15	173	116	16	31	5.0	9.5	22	6.0			110	88	537	108	40	62						224	167								
22	4.9	5.4	6.2	41	7.7	12	108	62	12	21	4.4	8.7	16	5.5			106	91	517	94	41	62						216	158								
23	4.5	5.0	5.9	39	7.9	11	54	29	11	16	4.7	8.6	8	6.0			99	95	520	91	46	66						220	149								
24	3.7	3.2	5.1	38	7.4	10	22	16	11	15	5.9	7.6	8.0	5.3			89	91	461	82	47	65						169	148								

[備考]数値のゴシック体による表示は、塩化物イオン濃度の年平均値が200mg/lを超えたことを示す。

表ー3 平成24年塩化物イオン濃度月変化

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
水島地区	1	4.1	4.1	4.3	3.6	3.5	3.4	3.6	3.7	3.5	3.8	3.5	3.6	3.7
	2	3.7	3.7	3.8	3.0	3.0	2.9	2.9	3.0	2.8	3.1	3.0	3.0	3.2
金剛地区	3	5.8	5.6	5.7	5.1	5.0	4.9	5.0	4.9	4.7	5.2	4.9	4.8	5.1
	22	47	46	50	42	35	33	41	34	37	31	29	30	38
	23	8.0	7.7	8.0	7.4	7.5	7.1	7.3	7.0	7.0	7.7	7.2	7.1	7.4
	4	11	11	11	11	10	10	9	9	8	10	9	9	10
	24	30	26	27	24	21	21	21	19	18	19	18	18	22
	5	18	18	18	16	15	15	15	15	15	16	16	15	16
	25	11	11	11	11	11	10	10	10	10	11	11	11	11
	26	16	15	16	14	15	14	15	14	14	15	14	14	15
	6	4.7	5.2	5.8	5.9	6.0	6.1	6.4	6.5	6.1	6.7	6.0	5.8	5.9
	7	8.5	8.2	8.5	7.3	7.5	7.3	7.5	7.4	7.0	7.8	7.3	7.3	7.6
	21	8.8	8.8	6.7	5.5	5.3	5.3	7.2	7.5	8.0	9.9	12.0	11.0	8.0
	27	6.0	5.8	6.0	5.2	5.2	5.0	5.1	4.9	4.9	5.3	5.0	5.0	5.3
郡築地区	9	98	96	100	93	90	100	84	84	79	85	78	77	89
	10	100	98	100	98	86	92	88	86	82	93	87	87	91
	11	490	500	520	480	440	450	450	440	420	470	440	430	461
	12	90	94	92	81	81	78	76	76	79	81	76	75	82
	13	48	52	51	46	44	45	44	44	44	49	47	46	47
昭和地区	14	67	72	71	66	64	62	63	62	61	67	64	61	65
	16	110	110	130	120	130	100	92	110	110	110	120	100	112
	17	600	650	630	590	550	530	530	530	510	570	550	540	565
古閑浜松高地区	18	840	82	1200	850	210	720	390	2400	310	250	57	1200	709
	19	5.6	5.7	5.5	4.8	5.9	4.7	5.4	4.7	4.6	5.1	4.8	4.8	5.1
	20	150	160	160	160	140	130	120	120	100	110	110	110	131
鏡地区	28	20	20	18	15	15	15	15	15	15	16	15	15	16
	29	220	220	220	190	190	190	190	180	170	200	180	180	194
	30	150	170	160	150	140	140	140	130	140	150	150	150	148

〔備考〕 数値のゴシック体による表示は、塩化物イオン濃度が200mg/ℓを超えたことを示す。

図-2 水島地区

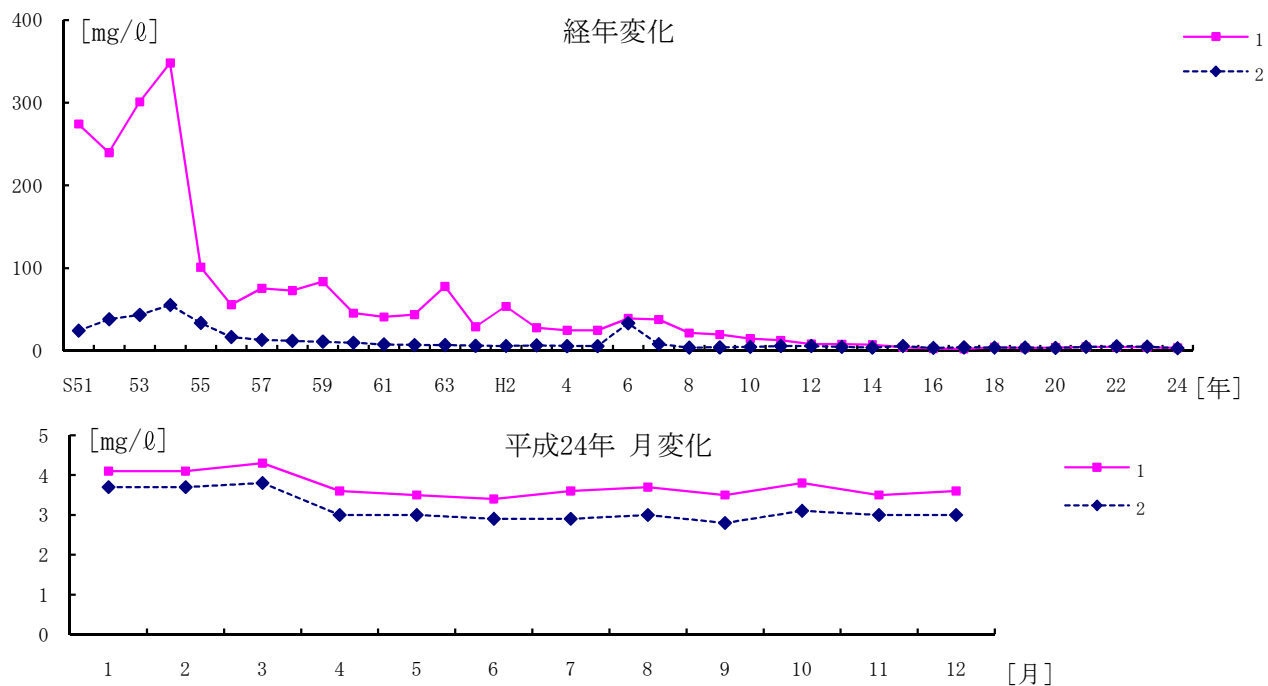
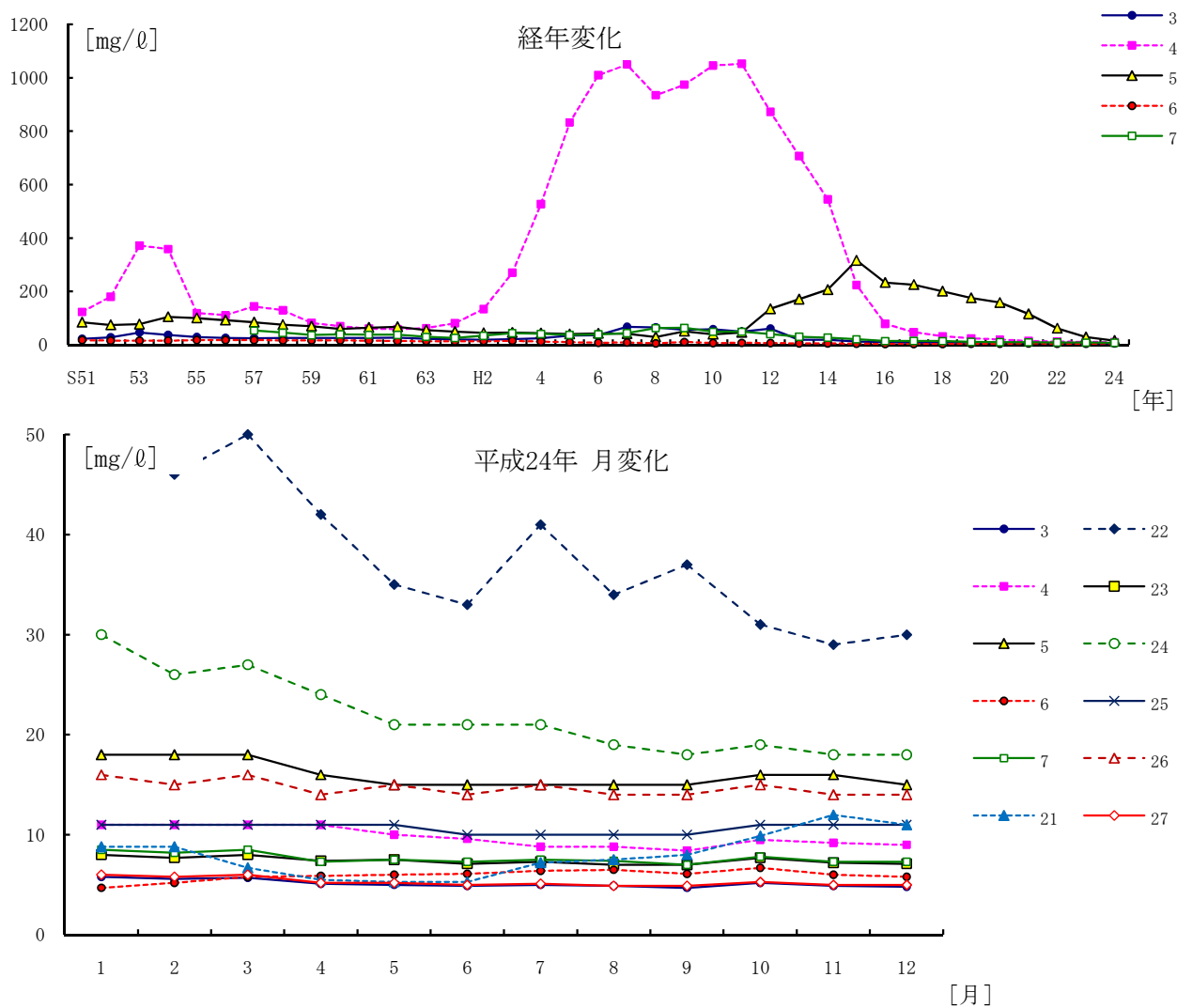
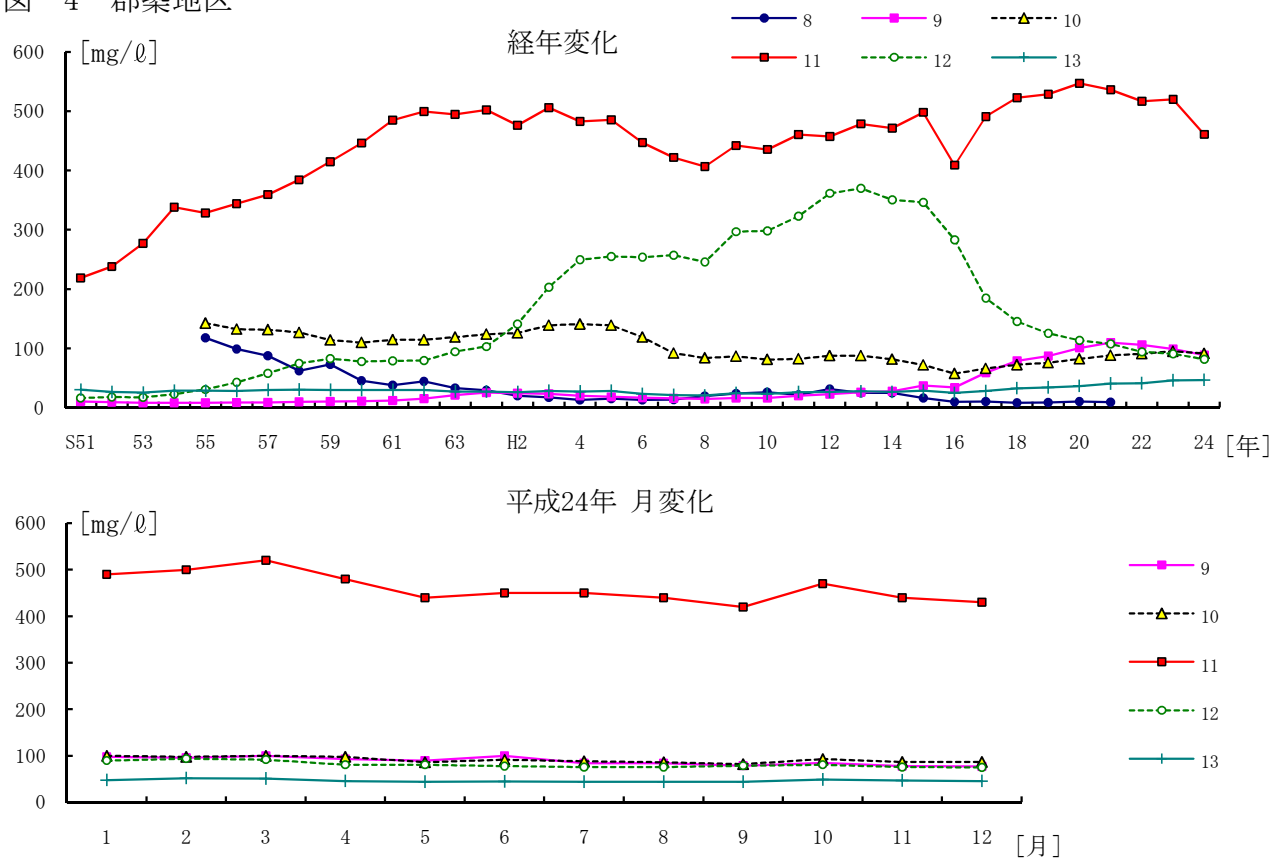


図-3 金剛地区



図一4 郡築地区



図一5 昭和地区

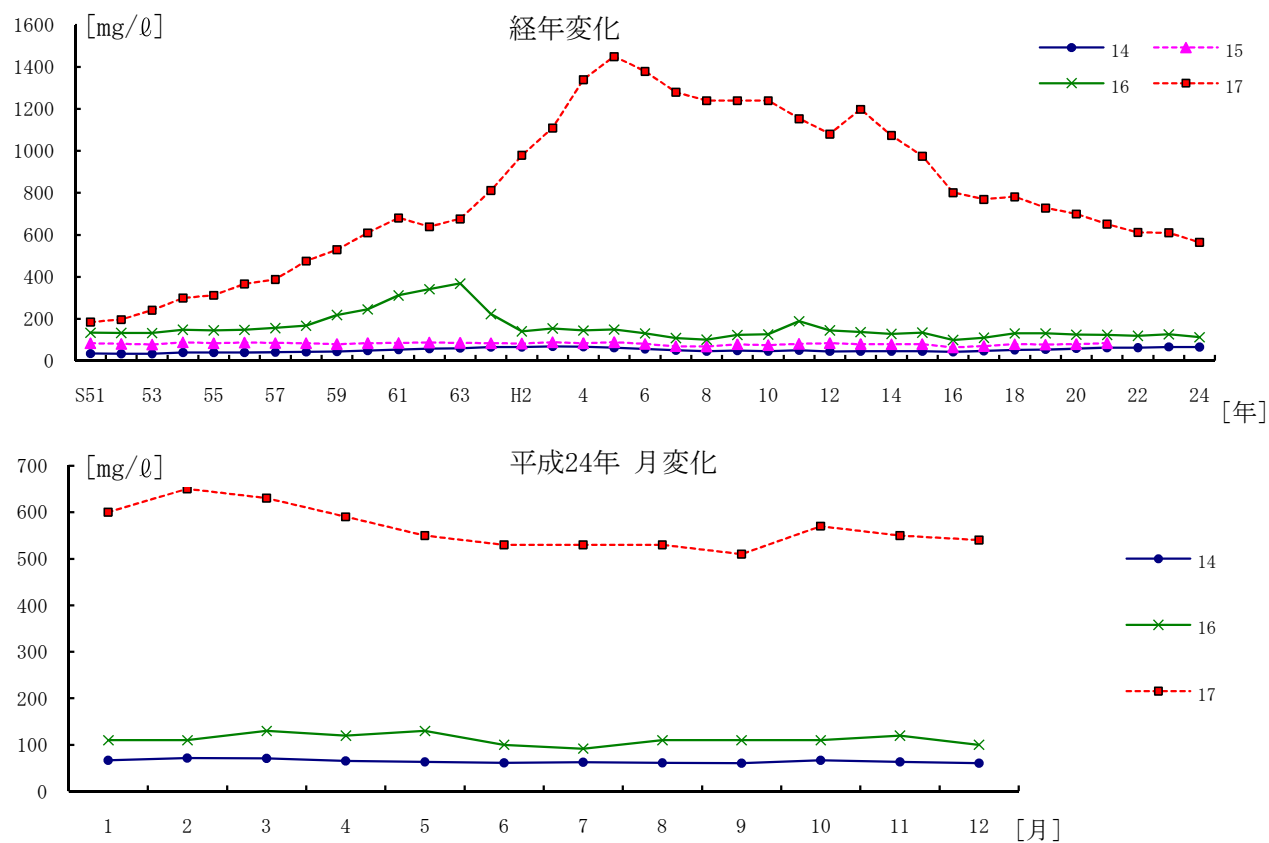


図-6 古閑浜・松高地区

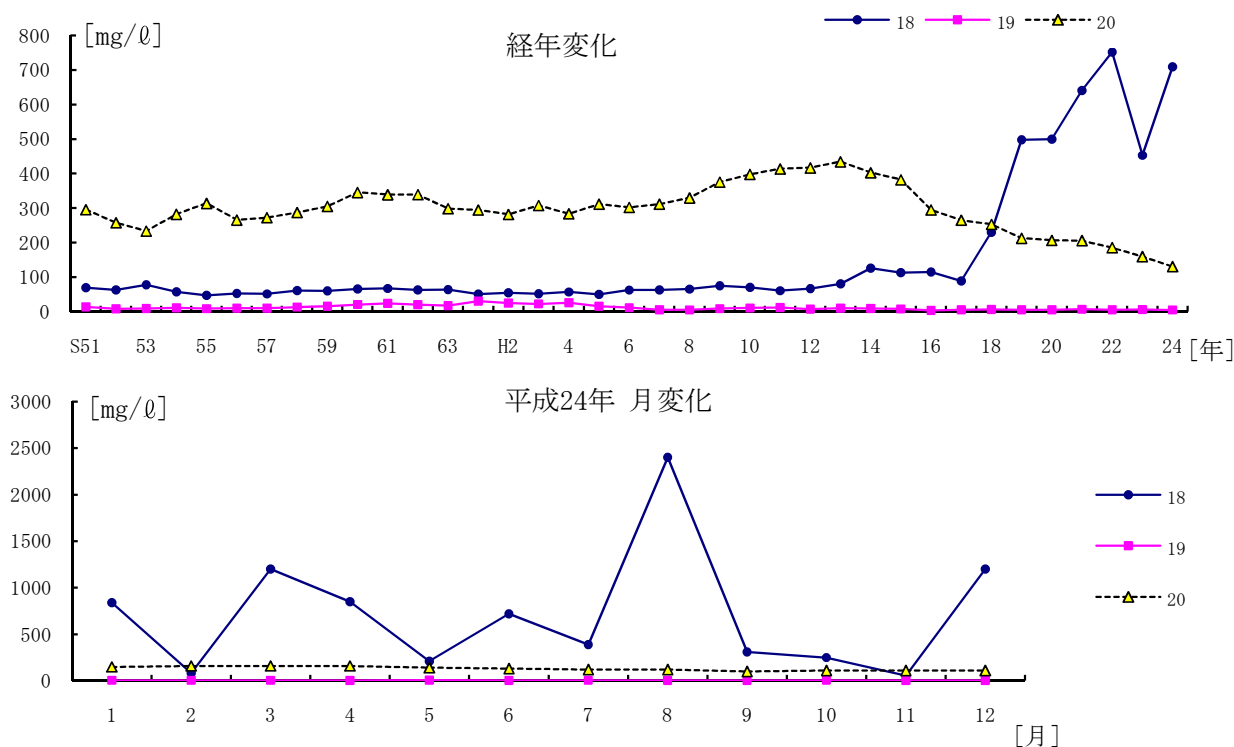


図-7 鏡地区

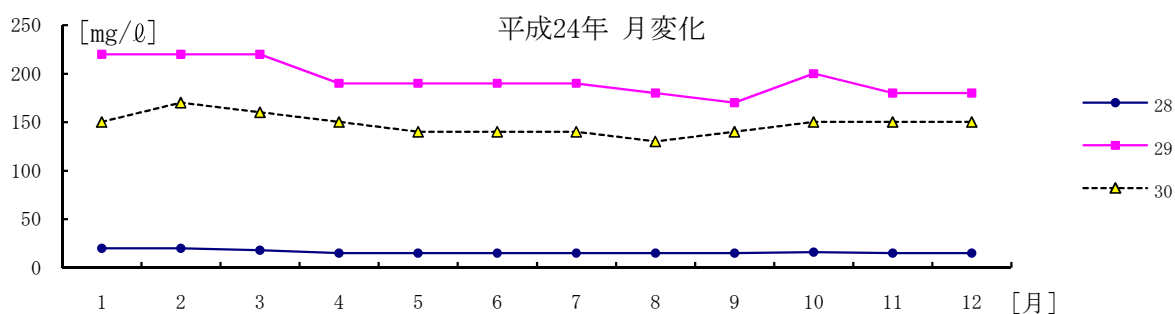
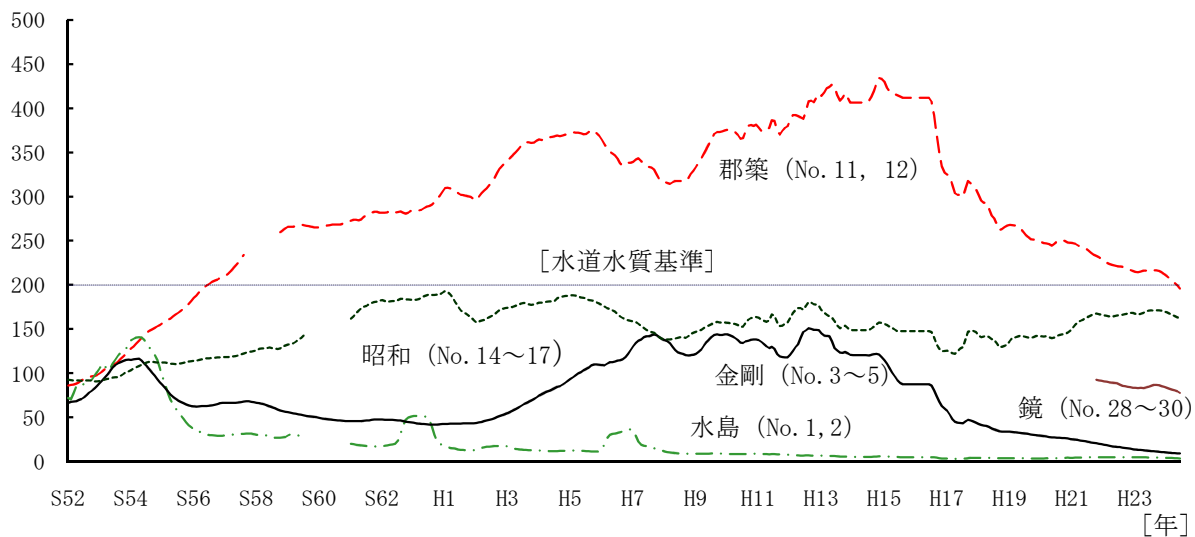


図-8 地域別塩化物イオン濃度の幾何平均の修正移動平均値の推移



3. 有害物質モニタリング調査

過去の地下水調査において有害物質の基準超過が確認された地域等について、地下水の状況を継続的に監視するためモニタリング調査を実施した。

(1) 調査内容

① 調査地点

- i) 汚染地域 7 地点
- ii) 工場跡地周辺地域 4 地点（浅井戸）

② 分析項目

ほう素、ふっ素、砒素、鉛

③ 分析方法

分析方法は、「地下水の水質汚濁に係る環境基準について（平成9年3月13日環境庁告示第10号）」に掲げられた方法。

(2) 調査結果

過去に「ほう素」、「ふっ素」及び「砒素」が基準を超過した井戸については、引き続き基準超過が確認された。

工場跡地周辺地域については、汚染は確認できなかった。

表－1 平成24年度有害物質モニタリング調査結果

地域	地点 No.	調査地点	項目	調査日		基準値
				H24. 8. 22～23	H24. 12. 7	
汚染地域	1	郡築12番町	ふっ素	0.96mg/ℓ	0.90mg/ℓ	0.8mg/ℓ以下
	2	二見下大野町	ふっ素	0.98mg/ℓ	1.0mg/ℓ	0.8mg/ℓ以下
			ほう素	14mg/ℓ	11mg/ℓ	1mg/ℓ以下
	3	二見野田崎町	ふっ素	0.08mg/ℓ未満	0.08mg/ℓ未満	0.8mg/ℓ以下
			ほう素	5.8mg/ℓ	5.7mg/ℓ	1mg/ℓ以下
	4	二見本町	ふっ素	0.08mg/ℓ未満	0.08mg/ℓ未満	0.8mg/ℓ以下
			ほう素	4.0mg/ℓ	3.6mg/ℓ	1mg/ℓ以下
	5	古閑浜町	砒素	0.018mg/ℓ	0.024mg/ℓ	0.01mg/ℓ以下
工場跡地周辺地域	6	千丁町古閑出	砒素	0.012mg/ℓ	0.015mg/ℓ	0.01mg/ℓ以下
	7	鏡町両出	砒素	0.011mg/ℓ	0.016mg/ℓ	0.01mg/ℓ以下
	8	鏡町下村	ふっ素	0.08mg/ℓ未満	0.08mg/ℓ未満	0.8mg/ℓ以下
			鉛	0.001mg/ℓ未満	0.001mg/ℓ未満	0.01mg/ℓ以下
	9	鏡町下村	ふっ素	0.08mg/ℓ未満	0.08mg/ℓ未満	0.8mg/ℓ以下
			鉛	0.001mg/ℓ未満	0.001mg/ℓ未満	0.01mg/ℓ以下
	10	鏡町下村	ふっ素	0.08mg/ℓ未満	0.08mg/ℓ未満	0.8mg/ℓ以下
			鉛	0.001mg/ℓ未満	0.001mg/ℓ未満	0.01mg/ℓ以下
	11	鏡町有佐	ふっ素	0.08mg/ℓ未満	0.08mg/ℓ未満	0.8mg/ℓ以下
			鉛	0.001mg/ℓ	0.001mg/ℓ未満	0.01mg/ℓ以下

[備考] ゴシック体：基準超過

4. 地下水採取量（平成 23 年度実績）

八代地域（旧八代市・旧千丁町・旧鏡町）は、熊本県地下水保全条例により地下水の水質及び水量の保全を特に図る必要がある地域として指定されている。指定地域内については、吐出口の断面積が 6 cm² を超える揚水設備で地下水を採取する者について、地下水の採取届出及び採取量の報告が義務付けられており、指定地域以外の地域においても、吐出口の断面積が 50 cm² を超える揚水設備で地下水を採取する場合は、同様の届出及び報告が義務付けられている。

また、全ての地域において吐出口の断面積が 125 cm² を超える揚水設備で地下水を採取する者については、熊本県の許可を受けることが義務付けられている。

地下水採取量（以下「採取量」という。）の経年変化等について、表－1、図－1、2 及び図－3 に示す。県の集計結果によると、県内の採取量は年々減少傾向にあったが、23 年度は増加に転じた。八代市においても、近年、採取量は減少傾向にあったが、平成 23 年度は、工業に供する採取量の増加に伴い、採取量が増加した。

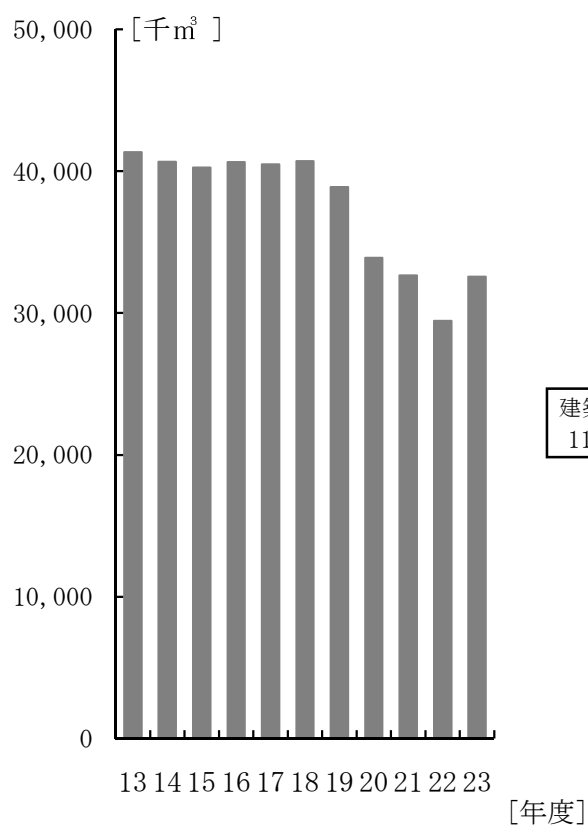
表－1 地下水採取量の経年変化

[単位：千 m³]

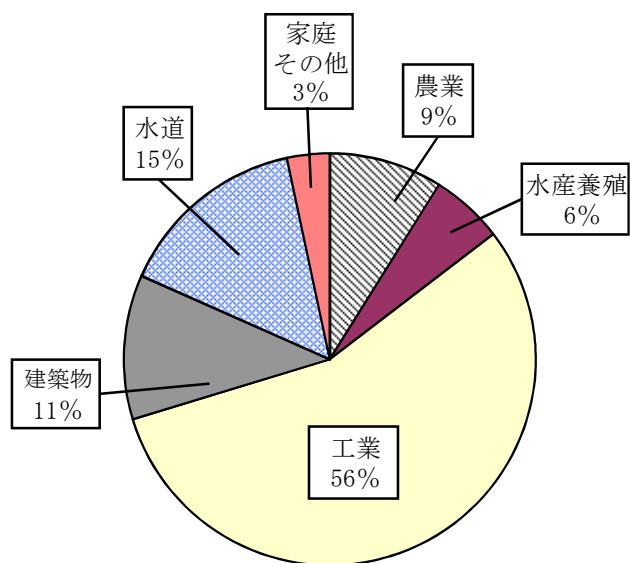
			19	20	21	22	23
県内全体			262, 228	253, 914	240, 550	233, 455	233, 823
八代地域全体			44, 944	38, 726	37, 234	34, 380	37, 323
八代市			38, 867	33, 885	32, 641	29, 436	32, 549
八代市における用途別採取量内訳	農業	採取量	7, 593	4, 403	3, 835	2, 814	2, 898
		報告件数	1, 282	905	791	796	783
	水産養殖	採取量	1, 862	1, 517	1, 875	1, 594	1, 854
		報告件数	11	10	10	10	10
	工業	採取量	19, 182	18, 488	17, 402	15, 369	18, 131
		報告件数	91	92	86	83	86
	建築物	採取量	4, 255	3, 604	3, 484	3, 626	3, 689
		報告件数	275	266	257	259	254
	水道	採取量	4, 784	4, 706	4, 903	4, 905	4, 889
		報告件数	45	45	44	44	44
	その他	採取量	1, 191	1, 167	1, 142	1, 128	1, 088
		報告件数	27	24	24	25	26

[備考]・八代地域については第 2 章の 5 環境影響評価に掲載。

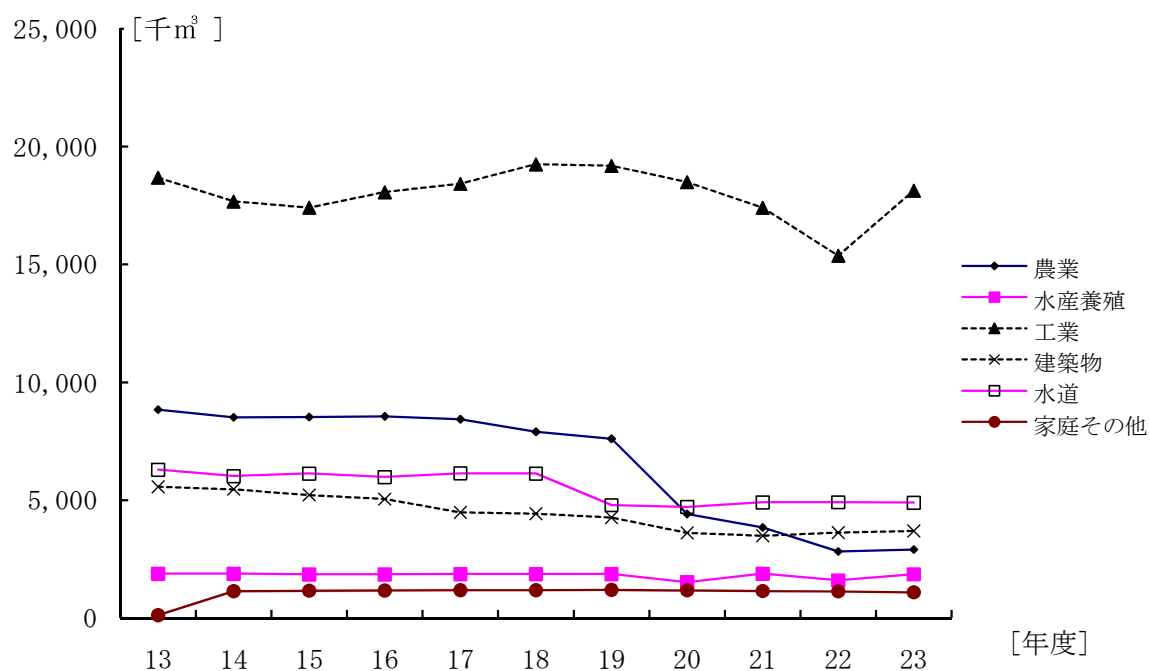
図－1 地下水採取量の経年変化



図－2 平成23年度地下水採取量内訳



図－3 用途別地下水採取量の経年変化



[備考] 図－1、2及び図－3は八代市における地下水採取量を示す。